

授業科目 専門ゴール型球技（バスケットボール）Ⅰ

【担当教員名】 高沢 文隆		対象学年	4	対象学科	スポ
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	○	◎	◎	○	
【概要・一般目標：GIO】 バスケットボールの実践を通して、その運動の本質を探り、指導者としての知識と技術を身につける。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. バスケットボールの基礎技術を習得する。 2. バスケットボールの一般戦術について理解する。 3. バスケットボールの技術とその指導法を学ぶ。 4. バスケットボールの特性を理解する。					
回数	授業計画・学習の主題		SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	オリエンテーション		4	講義、担当：高沢 文隆	
2	バスケットボールの基礎技術について1		1・3・4	講義、実習、担当：高沢 文隆	
3	バスケットボールの基礎技術について2		1・3・4	講義、実習、担当：高沢 文隆	
4	バスケットボールの一般戦術について1		2・3・4	講義、実習、担当：高沢 文隆	
5	バスケットボールの一般戦術について2		2・3・4	講義、実習、担当：高沢 文隆	
6	バスケットボールの技術と指導法1		3・4	実習、担当：高沢 文隆	
7	バスケットボールの技術と指導法2		3・4	実習、担当：高沢 文隆	
8	バスケットボールの技術と指導法3		3・4	実習、担当：高沢 文隆	
9	バスケットボールの技術と指導法4		3・4	実習、担当：高沢 文隆	
10	バスケットボールの技術と指導法5		3・4	実習、担当：高沢 文隆	
11	バスケットボールの技術と指導法6		3・4	実習、担当：高沢 文隆	
12	バスケットボールの技術と指導法7		3・4	実習、担当：高沢 文隆	
13	バスケットボールの技術と指導法8		3・4	実習、担当：高沢 文隆	
14	バスケットボールの技術と指導法9		3・4	実習、担当：高沢 文隆	
15	授業のまとめ		1・2・3・4	レポート、担当：高沢 文隆	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況 30% 授業態度 30% レポート 40%		【履修上の留意点】 バスケットボールの競技規則を理解し、ゲームの審判ができることを条件とする。 * 審判の資格取得の有無は問いません。			